



株式会社 吉田金型工業

行動規範

CODE OF CONDUCT



吉田金型工業社長メッセージ

吉田金型工業で共に働く皆さんへ

我々は働くことが出来るからこそ、給与を得て皆様の幸福を実現する事ができます。

働く事ができるという事は当たり前ではなく、家族・仲間・顧客・地域・国家・世界が存在するからであります。

そのことに感謝し、お返しをしなくてはなりません。それが最終的には自分に返ってきます。

一社会人であると共に大きな意味でのコミュニティのメンバーであります。

その為、個人の幸福の為だけではなく、仲間・顧客・地域・国家・世界に利益をもたらす存在でありましょう。

仲間には友人・共に働く社員・仕入先・業界も含まれます。

顧客には品質・納期はもちろん、感謝されるような活動をしましょう。

社会に対しては環境配慮・コンプライアンス・サステナビリティを意識し活動しましょう。

他者を笑顔にすることが自分の幸福に繋がると認識し行動をする社員であることを期待します。



取締役社長 吉田正生

社是

夢の実現

社訓

常に挑戦心を持ち、仕事に創意工夫し、信用を勝ち取ろう。

経営理念

我が社は顧客に満足させる金型作りのプロ集団を目指し
コミュニケーションを大いに計り素直な心と協調性を持ち
みんなの努力で社業を大いに発展させ地域社会と全従業員
の物心両面の幸福を追求し地球にやさしい環境に努める

品質方針

- 1.金型作りのプロの集団として、顧客が満足する金型を提供する。
- 2.品質マネジメントシステムの要求事項を満たし、その有効性を継続的に改善し、品質不具合を撲滅する。
- 3.スピーディな行動で品質改善 そして新たな飛躍

環境方針

当社は「健康都市」大府市の北端の工業団地に立地しています。
この恵まれた地域環境を保全し、次世代に引き継ぐことが我々に与えられた
責務と認識し全社を挙げた環境保全活動に取り組みます。

目次

1 はじめに	4
1.1. 行動規範の位置付け	4
1.2. 対象者	4
1.3. 期待	5
1.4. この行動規範に反する行為	7
2 コンプライアンス	8
2.1. 独占禁止法の順守	8
2.2. 贈収賄の防止	8
2.3. 経済制裁措置への対応/輸出入管理	9
2.4. 環境関連法規の順守	9
2.5. 知的財産権の尊重	10
2.6. 個人情報保護	10
2.7. 記録保管	10
2.8. 機密情報の保護	11
2.9. インサイダー取引の防止	11
2.10. 適切な会計処理・納税	12
2.11. 会社資産の保護	12
2.12. 利益相反の回避	12
2.13. 政府当局への正確な情報提供	13
2.14. 人権の尊重	13
2.15. リスク管理の徹底	14
3 各ステークホルダーとの関わり	15
3.1. お客さま	15
3.2. 社員等	16
3.3. 取引先	17
3.4. 株主	18
3.5. 地域社会・グローバル社会	18
4 吉田金型工業サステナビリティ方針	20
4.1. はじめに	20
4.2. コンプライアンス	20
4.3. 人権の尊重	20
4.4. リスク管理の徹底	20
4.5. 経営トップの役割	20
4.6. 各ステークホルダーとの関わり	20

1 はじめに

1.1. 行動規範の位置付け

社是・社訓・経営理念

創業者の精神を明文化したもので、吉田金型工業に脈々と流れる創業の精神



品質方針・環境方針

持続可能な社会への貢献という観点から、ステークホルダーとの関係において経営理念に基づき策定した方針



行動規範

経営理念、方針を実践するための私たち一人ひとりの行動規範

1.2 対象者

この行動規範は、吉田金型工業の役員および社員等に適用されます。

「役員」とは、取締役、経営役員、執行職、監査役またはそれらに準ずるものをいいます。

「社員等」とは、正社員、嘱託社員、パート、その他会社の管理、監督下に置かれる者をいいます。

1.3 期待

1.3.1.あなたの責務

- ・ 金型作りのプロの集団の一員である自覚と誇りを持って積極的に役割を果たしましょう。
- ・ 行動規範をよく理解し、全ての行動や事業活動を通して経営理念を実践しましょう。
- ・ 行動規範に基づく定期的な研修や必要なコンプライアンス研修を受講しましょう。
- ・ 法令や会社の方針について疑問や不安があれば、迷わず相談・報告することが期待されます。

管理・監督者は、上記に加え、以下の事項の徹底もお願いします：

- ・ 自ら率先垂範し、部下に指導しましょう。
- ・ チームや同僚の声に積極的に耳を傾け、何かを聞いたり、見たり、会社の価値基準やコンプライアンスの問題に悩んでいる人がいると思われる場合は、誠実に行動しましょう。
- ・ 必要に応じ、担当部門に相談しましょう。
- ・ 倫理、コンプライアンス、誠実さを実践する環境を育むために、あなたのチームメンバーが必要とされる全ての研修を受講する責任があります。
- ・ オープンな風土を醸成し、チーム学習を取り入れ、コンプライアンスと誠実さを維持するために経営理念を体現し、倫理的リーダーシップを発揮してください。

この行動規範の原則を日常業務において守ろうとする中で、私たちの決断と行動が、高い倫理観や誠実さを維持し、コンプライアンスを順守するというコミットメントと矛盾していないかどうかを判断する際には、以下 3 つの点を自問自答してください：

1. 自分がしていること、しようとしていることは、法令、経営理念、社内規則、行動規範に合致しているか？
2. 家族や友人に話しても平気か？
3. 会社の信頼を損ねることにならないか？

答えが「No」である場合、または、自信が持てない場合は、立ち止まり、上司、コンプライアンス担当部門/担当者に相談してください。

1.3.2.倫理的行動と法令順守(コンプライアンス)

私たちは、事業活動に適用される法令・規則等およびそれらの精神、社内規則などを順守し、各国・地域の文化・慣習・歴史を尊重しつつ、高い倫理観を持って、誠実、健全かつ公正な企業活動に努めます。

- 私たちは、自身の業務遂行にあたり、適用される法令・規則・基準・社内規則などについて常に最新かつ正確であることを確認し、これを順守します。
- 私たちは、必要に応じて外部の専門家や管轄当局などに相談し、守るべきことを明確にします。
- 私たちは、ステークホルダーからの期待・信頼を得られる誠実な行動を心掛け、他社の知られている事例や過去の教訓をふりかえり、常に謙虚な姿勢で考え行動します。

1.3.3.懸念の報告と処理

私たちは、法令や規則、会社の価値基準に反する行為がある場合、声を上げることが奨励され、期待されています。

また、同僚や利害関係者が問題を指摘した際には、積極的に耳を傾け、オープンで対等なコミュニケーションを行います。

もし法令や規則について疑問や懸念があれば、上司や関連部門、コンプライアンス担当者に報告・相談できます。

私たちは、チームでまたは個人で最善を尽くせない可能性がある場合に、声を上げる権限を与えられています。

これにより、会社は適切な手順でコンプライアンスを順守し、経営理念を実践することができます。

私たちは、もし自分や周囲の行動が規範に違反するかもしれないと感じた場合、いつでも助言を求め、懸念を表明する義務があります。

非倫理的行為や規則違反が懸念される場合、速やかに報告し、お客様やサプライヤーを含む取引先にも問題の報告を促します。

コンプライアンスに関する懸念や質問は、上司、関連部門、または内部通報窓口に報告することが求められます。内部通報は法的に認められる場合、匿名で行うこともできます。

報告内容は必要に応じて調査されます。

私たちは、報告者に対する報復をいかなる場合でも許容しません。

1.4. この行動規範に反する行為

この行動規範に反する場合、会社の就業規則その他規則に基づき解雇を含む懲戒処分を受けることがあります。当該行為を放置し、または、重大な過失で見落とした管理・監督者も会社の就業規則またはその他規則に基づき、解雇を含む懲戒処分を受けることがあります。

2 コンプライアンス

2.1. 独占禁止法の順守

» 適用される独占禁止法を遵守し、公正かつ自由な取引を維持します。

<私たちの規範となる行動>

- 打ち合わせ・展示会・事業者団体の会合など、競合先との接触は最小限とします。
- やむを得ず接触する場合、接触時には、価格協定やカルテル・談合を疑われるコミュニケーションや行動はしません。
- カルテルや談合などの場面に遭遇した場合、明確に断り、これに関与しません。
- 競合先との間で、競合製品の価格や販売・生産数量、事業計画や収益、生産能力や生産計画、新商品の開発情報などの非公開の情報交換を行いません。
- お客さまへの販売価格を販売店や取引先へ指示するなど、独占禁止法で禁止される不公正な取引を行いません。

2.2. 贈収賄の防止

» ビジネスパートナーに対し、直接的または間接的(エージェントや代理人などの仲介等)に、わいろ、リベート、またはその他同様の支払いを提供、約束、または行うことを禁止します。

<私たちの規範となる行動>

- 取引先やビジネスパートナーとの間で、一般的に許容される範囲を超えるような金銭・接待・贈答品などの提供・受領は行いません。
- 接待・贈答品などの提供や、受領の際は、会社規則に従って、目的・相手・金額などの面から適切な範囲内で行います。
- 私たちは商業的目的での事業にのみ従事し、商業的な対価関係に基づかない報酬や、提供されるサービスや業務内容に比べ報酬が高額であるような取引を一切行いません。
- 地域または国で適用される、贈答品、食事、接待、旅行や宿泊、および同様の特典の提供、贈与、受領に関するガイダンス、事前承認の要件または制限について、質問がある場合は、会社の総務および/またはコンプライアンス担当部門/担当者に相談することができます。

2.3. 経済制裁措置への対応/輸出入管理

- ≫ 私たちの商品や技術が、国際社会の平和と安全を脅かす可能性のある国や組織などに渡らないよう、国際安全保障に関するグローバル輸出管理ガイドラインに従って、適用される輸出および経済制裁関係法令を順守し、安全保障貿易管理を適切に行います。
- ≫ 輸入時は、輸入関税や消費税等の租税を正しく納付します。

<私たちの規範となる行動>

- 輸出においては、輸出に関して適用される法令を順守します。
- 輸入の際は、適用される関税に関する法令に従い、正しく申告を行います。
- 適用される貿易コンプライアンスおよび経済制裁に関する法令、規制、ルールを順守します。
- 社員等は、制裁対象または指定された個人または団体との取引を含め、貿易コンプライアンスに関する法令、規制で禁止されている取引を行ってはなりません。

2.4. 環境関連法規の順守

- ≫ 適用される全ての環境法令、規制、基準、および社内方針を遵守します。

<私たちの規範となる行動>

- 環境負荷物質の排出に関する法規制等を含む、適用される全ての環境に関連する法令、規制、基準および社内方針・ルールを順守することを約束します。
- このコミットメントは、環境の持続可能性と規制順守に対する私たちの確固たる姿勢を表しています。環境関連のコンプライアンスに関する問題や懸念を認識した場合、直ちに上司および環境担当部門またはコンプライアンス担当部門/担当者に報告します。

2.5. 知的財産権の尊重

» 第三者の知的財産権を尊重し、侵害することのないよう努めます。

<私たちの規範となる行動>

- 発明・考案を速やかに届け出て、知的財産の保護をはかります。
- 第三者の知的財産権を侵害しません。
- 知的財産権を活用するときは、適用される法令や契約条件を守ります。

2.6. 個人情報保護

» 個人情報は、適用される法令や社内規則に従い、適切に取得・管理・利用・提供などを行います。

» 取得した個人情報に対する不正アクセス・漏洩・紛失・改ざんなどを防止する安全措置を講じます。

<私たちの規範となる行動>

- 個人情報を取得する際は、その利用目的を具体的に特定し、あらかじめ本人に通知・公表します。また、その利用目的以外では利用しません。
- 法令上認められている場合や法令の要請に基づき本人の同意を得た場合を除き、個人情報を第三者に提供・開示しません。
- 本人からの問い合わせや請求があった場合には、適用される法令や規則に従って誠実に対応します。

2.7. 記録保管

» データは会社資産であり、私たちは社内規則に基づき誠実に、適切に保管・使用・廃棄します。

<私たちの規範となる行動>

- 保管期限を設定し、保管期限の到来、または必要がなくなった時点で適切な方法で廃棄します。
- 全ての記録は正確かつ完全でなければならず、私たちは文書保管規則や要求事項がある場合はこれらを順守します。

2.8. 機密情報の保護

- ≫ 私たちは、適切な機密情報の保護と管理に努めます。
- ≫ 不正な手段により、第三者が保有する機密情報を取得することを許しません。
- ≫ 情報セキュリティに関する社内規則を理解・遵守し、教育・啓発を通じて情報漏洩・サイバー事故や社員等による不正な情報漏洩の防止に努めます。

<私たちの規範となる行動>

- 機密情報は安全な場所に保管し、不要なアクセスを制限します。
- データの暗号化、物理的なセキュリティの強化、パスワード保護など、適切なセキュリティ対策を講じます。
- 身に覚えのない怪しいメールは開かず、相談部門へ連絡します。
- 機密情報に限らず、会社の情報は私有メールアドレスに送信しません。
- メール送信時には誤送信がないよう、宛先・CC/BCC・添付ファイルの確認を行います。
- 機密情報を社外へ持ち出す際は社内規則を順守し、紛失・漏洩・盗難がないよう適切に管理します。
- 会社構内では、社内規則に従って撮影をします。
- 関係者以外がいる場所では機密情報について話しません。
また、インターネットサイトや SNS などへは機密情報を投稿しません。
- 不要になった情報機器やアクセス権は速やかに返却します。
- 私たちは、オフィスや工場では、携帯電話やソーシャルメディアを含むその他のテクノロジーについて、使用許可を受けたうえで、責任を持って利用します。
- 個人用デバイスの使用により、生産性を妨げたり、利用規定を含め適用される社内規則に違反してはなりません。

2.9. インサイダー取引の防止

- ≫ インサイダー取引防止に関する法令を遵守し、公正な証券取引を阻害するインサイダー取引を許しません。

<私たちの規範となる行動>

- インサイダー情報を見聞きしたり、何らかの事情で知ったりした場合は、その情報が公表されるまで、その会社の株式等を売買しません。家族や他人の名義でも行いません。また、株式の売買を勧めません。
- 業務上必要な場合を除いて、吉田金型工業、取引先のインサイダー情報を、他人に口外しません。また、家族や知人にも教えません。

2.10. 適切な会計処理・納税

- ≫ 経営成績および財政状態に関し、ステークホルダーに真実の情報を提供するため、一般に公正妥当と認められる企業会計基準および関係諸法令に従って、適正な経理処理を行います。
- ≫ 事業活動に適用される税務関連法令等を遵守し、適正な納税を行うことにより、社会への貢献と企業価値の維持および向上に努めます。

<私たちの規範となる行動>

- ステークホルダーへの正しい情報提供の土台は、各職場での正確な記録にあることを念頭におき、日々の業務情報（伝票処理やたな卸など）を、法令や社内規則に従って、正しく記録・保管します
- 会計処理に関する教育を通じて、税務に関連する法令やルールなどを理解し、適正な納税・税務対応を行います。
- 会計・税務実務を高い水準で行います。記録の改ざんや脱税などの不正行為は固く禁じられています。全ての財務取引において、誠実さ、透明性を重視します。
- 監査中、社員等は全面的に協力し、正確で完全な情報を提供する責任があります。監査は、倫理的な会計および税務実務へのコミットメントを維持する上で重要な役割を果たします。
- 財務情報の機密性は重要です。全ての社員等は、常にデータの機密性とセキュリティを確保しなければなりません。

2.11. 会社資産の保護

- ≫ 会社資産を効率的かつ適正に活用および管理し、不当、不正な目的で使用しません。

<私たちの規範となる行動>

- 会社の資産（製品・設備・備品・情報・知的財産など、有形・無形のもの全て）は会社の業務でのみ使用し、私的な目的で使用しません。また会社の資産の価値を損なうような不正行為（無断持出しなど）を行いません。
- 詐欺・盗難・紛失などのリスクに十分に注意し、会社資産の適正管理に取り組みます。

2.12. 利益相反の回避

- ≫ 職務にあたり、個人的利益のために、会社に不利益を与えるような行為は行いません。

<私たちの規範となる行動>

- 一人ひとりが職務にあたり、会社にとって最善となるよう行動しなければなりません。会社の利益を犠牲にして、自分自身や他人の利益を優先しません。
- 自らまたは家族や知人の個人的な利益と会社の利益の間に対立が生じる（利益相反）ことなどがなく、公私のけじめをつけます。
- 利益相反となる行為、潜在的な利益相反を引き起こす行為、また、そのように受け取られる行為は避けます。
- 個人的に関係のある者との間で、それを適切に開示せずに、雇用または監督したり、取引を行ったりしません。
- 同業他社、お客さま、取引先企業との間で、社外における活動を行ったり、金銭的または職業上の利害関係をもったりしてはなりません。
- 個人的利益のために、会社のリソース（人・資金・情報や物などの資産等を含む）を使用、活用、参照しません。
- 会社の利益ではなく、個人的利益と受け取られるような贈答品や業務上の接待を行ってはいけません。

2.13. 政府当局への正確な情報提供

≫ 法令で求められる場合、規制当局やその他の政府当局に正確な情報を提供しなければなりません。いかなる場合でも、虚偽の説明を行ったり、説明を省くことは固く禁じられています。

<私たちの規範となる行動>

- 法令で求められる場合、規制当局やその他の政府当局に対して、適時に対応します。
- 規制当局やその他の政府当局に対して、誠実に、全面的に対応します。
- 規制当局や政府当局に誤解を与えたり、虚偽の情報を報告したりしません。

2.14. 人権の尊重

≫ 研究開発、調達から商品・サービスの提供に至る全ての企業活動が、直接的または間接的に人権に影響を及ぼす可能性があることを理解し、強制労働・児童労働の禁止、結社の自由、差別の排除など、国際的に認められた人権を尊重します。

≫ 人権尊重の取り組みは、吉田金型工業の役員・社員等だけでなく、全てのビジネスパートナーにもご理解・ご協力いただくよう、働きかけます。

≫ 公正な賃金と協力的な労働環境を醸成するための措置を講じることを約束します。

<私たちの規範となる行動>

- 私たちは、吉田金型工業の人権に関する方針を尊重し、一人ひとりの積み重ねが、誰もが安心して働ける、思いやりと尊重に満ちた職場づくりにつながることを理解し、人権を大切にします。
- もし問題が発生した場合は、上司や人権担当部門、または担当の組織・責任者に相談し、適切に対応します。
- 互いを思いやり、相手の人格やプライバシーを尊重することを心がけます。
- どのようなハラスメントも許さず、社内のルールに反する不適切な言動は慎みます。
- 人種や国籍、性別、年齢、信条、障がいの有無など、さまざまな違いを尊重し、不当な差別や嫌がらせをしません。
- 人身売買、奴隷労働、強制労働（児童労働を含む）を一切容認しません。
また、サプライヤーにこれらのコミットメントに従った行動を要請します。
- 私たちの事業に関連して差別や人権侵害に気付いた場合、止めるための行動をします。

2.15. リスク管理の徹底

» 市民生活や企業活動に脅威を与えるテロ・サイバー攻撃・自然災害・感染症の蔓延、サプライチェーンリスクなどの多様化するリスクに備え、組織的な危機管理を徹底します。

<私たちの規範となる行動>

- 日頃から会社や自職場のリスクに対しアンテナを高く張り、リスクへの感度を高め、リスク情報の収集に努めます。
- 自職場や担当する業務で発生しうるリスクを把握し、職場の仲間と対策を検討、重点的に取り組むリスク項目を特定し、未然防止、リスクの最小化に努めます。
- リスクが発生した場合は、上司および関係部門・責任者に直ちに報告し、社内規則に従い適切な行動をとります。

3 各ステークホルダーとの関わり

3.1. お客さま

3.1.1. 金型設計・製造の品質

≫ 「お客さま志向」を常に念頭に置き、時代の変化を先取りした研究と新たな価値の創造に努めます。金型設計から製造、納品後のサポートに至るまで、品質の向上と環境への配慮を徹底し、最適な金型を提供します。

<私たちの規範となる行動>

- お客さまとの打ち合わせでは、求められる機能や品質要件を的確に把握し、最適な金型設計・製造に反映させます。
- ダイカスト製品の品質を左右する金型として、適用される法令・規格・基準を遵守し、お客さまと合意した仕様を満たす高品質な金型とサービスを提供します。
- 品質保証の基本を理解し、設計・製作の各段階でお客さまの視点に立ったレビューを実施し、最適なソリューションを追求します。
- 金型の評価・検査においては、お客さまと合意した手法やルールに基づき、適切な検査を実施し、結果を確実に記録・管理します。
- 作業標準を徹底し、ムダ・ムラ・ムリのない精度の高い製作を行い、自工程で品質を確保します。不良や問題が発生した際には、迅速に対応し、不良品を後工程へ流さない体制を維持します。

3.1.2. 誠実な営業活動

≫ 最新技術の研究と新たな価値の創造に努め、お客さまのニーズに応える高品質な金型とサービスを提供します。

≫ 会社の代表としての自覚を持ち、謙虚さと感謝の心を忘れずに、お客さまと誠実に向き合います。

<私たちの規範となる行動>

- 「現地現物、観て、聴いて、提案する」を繰り返し、お客さまの関心ごとや困りごとを見つけ出すように努めます。
- 広告・宣伝については、関係法令を順守し、第三者の権利侵害などをしないように、事前確認を徹底します。また、他人を誹謗中傷する表現や、誤解を招く表現は用いず、事実に基づき、良識をもって行います。

3.2. 社員等

3.2.1. 健全で働きやすい職場

≫ 一人ひとりが健全で働きやすい職場づくりの担い手であるという自覚をもち、吉田金型工業の経営理念のもと行動します。

<私たちの規範となる行動>

- 吉田金型工業で働く者としての自覚を持ち、会社の理念・価値観を理解し、職場一丸となって誠実に仕事に取り組み、そして、社会の発展に貢献します。
- 社内外から貪欲に学び、積極的に自己成長に努め、自身の考え・能力を最大限に発揮し、改善や品質の向上、その他日々の仕事に取り組みます。
- 体裁を繕うことや見栄を張ることをせず、何事に対しても堅実に、真正面から本質に向き合い、問題を見つけたら放置せず立ち止まり真因を徹底して特定し、改善に取り組みます。
- 相互信頼と対等なパートナーシップをベースに、職場・会社の仲間たちの多様性を尊重し、お互いに思いやりをもって接し、協力し合いながら、一人ひとりの役割を全うします。
- 組織のあらゆるレベルにわたって、オープンで誠実かつ建設的なコミュニケーションを育む心理的安全性の高い職場環境（社員等が質問し、意見や懸念を表明する権限を与えられ、安心して、敬意と尊厳をもって互いに接することができる環境）をつくります。
- お客さま・地域の方々などの全てのステークホルダー、そして私たちを取り巻くあらゆるものの支えに感謝し、日々の業務を行います。

3.2.2. 安全・健康

≫ 吉田金型工業に働く一人ひとり、吉田金型工業経営理念のもと、安全を全てに優先し、相互を思いやり、毎日笑顔で働ける誇りある職場づくりを目指します。

<私たちの規範となる行動>

- 私たちは、安全で健康な職場環境づくりに努めます。
- 作業・行動には必ず危険があることを認識し、自ら感受性をみがき、危険の発見と改善に努めます。
- 安全行動を実践していない人やルールを知らない人を見かけたら、思いやりを持って注意します。
- 心身の健康を大切に、より良い生活の実現を目指します。

3.3. 取引先

3.3.1. 調達

- » サプライヤーを尊重し、長期的な視野に立って相互信頼に基づく共存共栄の実現に取り組みます。
- » サプライヤーの決定にあたっては、全ての候補に対しその国籍または規模に関わらず門戸を開き、その総合的な強みに基づき判断します。

<私たちの規範となる行動>

- コスト上昇などの社会的変化を踏まえた取引価格・取引条件となるよう誠実に協議します。
- サプライヤーの決定にあたっては、品質・価格・納期・安全および経営の安定性・技術開発力に加え、法令順守・人権尊重（強制労働・児童労働の禁止を含む）・環境保全活動など社会的責任を果たしているかについても十分評価を行い、判断します。
- エージェントや代理人など、会社のために取引先の間に入り役務の提供を行うビジネスパートナーには、適用される法規制およびこの行動規範に定める原則を順守することにより、会社の信頼と価値観を維持することを要請します。
- 「グリーン調達」を推進し、環境負荷の少ない部品・材料・設備を調達します。
- 地域社会に貢献できるよう、地域のサプライヤーからの調達を推進します。
- 有事の際も、お客さまへの商品・サービスの提供を可能な限り早く再開できるよう、サプライヤーの事業継続計画（BCP）推進を支援します。
- サプライヤーには、理解と共感のもと、この行動規範の重要事項へ取り組んでいただくよう、積極的に働きかけます。
- 私たちは、持続可能な調達の実践に取り組んでいます。意思決定において環境、社会、経済的影響を意識的に考慮し、責任ある事業活動を行います。

3.4. 株主

3.4.1. 企業広報・IR

≫ 企業活動を通じて社会課題の解決に貢献する姿を、広く社会に理解いただけるよう積極的かつ公正な情報発信を行います。同時に、社会の声に耳を傾け、継続的なコミュニケーションを通じ、ステークホルダーとの良好な関係を維持します。

<私たちの規範となる行動>

- 自らの言動が、会社の広報活動の一翼を担っているとの自覚を持ち、一人ひとりが高い倫理観に基づいて、節度ある行動を心がけます。
- ステークホルダーからの問い合わせに対する回答は、公正性に留意しつつ適切・迅速に対応します。
- 誤った情報や不確かな情報は発信しません。

3.5. 地域社会・グローバル社会

3.5.1. 環境保全

≫ 豊かな自然を将来世代に引き継ぎ、地球と調和した豊かな暮らしを実現する持続可能な社会を目指して、事業活動全般を通して環境保全に努め、環境と経済を両立する技術の開発と普及に取り組みます。

<私たちの規範となる行動>

- ダイカスト金型の設計・製造において、エネルギー効率の向上とムダの削減に努めるとともに、製品のライフサイクル全体を通じて省エネルギー性能を追求した金型開発を推進します。
- 金型の長寿命化とリユース可能な設計を取り入れ、廃棄物の削減と資源・エネルギーの有効活用を実現する3R(リデュース・リユース・リサイクル)に配慮した生産活動を行います。
- 事業活動において自然との共生を意識し、生物多様性に配慮した持続可能な金型製造プロセスの確立に努めます。
- 環境負荷を低減するための取り組みを積極的に推進し、従業員だけでなく、取引先や地域社会とも協力して環境保全の輪を広げていきます。

3.5.2.社会貢献活動

- ≫ 社会・地球の調和のとれた持続可能な発展に貢献するために、各国の文化・慣習・歴史を尊重しながら、積極的に社会貢献活動を行います。
- ≫ 地域社会およびステークホルダーとの丁寧なコミュニケーションを通して、事業活動を行う地域や、様々な関係者のニーズに応じた活動に取り組みます。

<私たちの規範となる行動>

- 社会課題へ関心を持ち、自分にできることは何かを考え、積極的に社会貢献活動に参加します。
- 企業も地域社会の一員であることを認識し、地域住民としての責務を果たします。
- 仲間のボランティア活動を応援し、一人ひとりが活動に参加しやすい風土づくりに努めます。
- ボランティア、チャリティなど、地域社会で果たす積極的な役割を奨励し、称賛します。
- 全ての寄付およびスポンサーシップは、慈善寄付やスポンサーシップに関し適用される法令および社内方針に準拠する必要があります。

4 吉田金型工業サステナビリティ方針

4.1. はじめに

私たちは、「吉田金型工業経営理念」に基づき、あらゆる企業活動を通じて社会・地球の調和のとれた持続可能な発展に貢献します。

私たちは、持続可能な発展のために、全てのステークホルダーを重視した経営を行い、オープンで公正なコミュニケーションを通じて、ステークホルダーとの健全な関係の維持・発展に努めます。

私たちは、取引先がこの方針の趣旨を支持し、それに基づいて行動することを期待します。

4.2. コンプライアンス

- 私たちは、国内外・国際的な法令・ルールおよびそれらの精神を遵守し、各国・地域の文化・慣習・歴史を尊重しつつ、高い倫理観をもって、誠実、健全かつ公正な企業活動に努めます。
- 私たちは、競争法、贈収賄規制法、輸出規制法、知的財産保護法、個人情報を含むデータ保護法などに関わる法令違反行為に関与しません。

4.3. 人権の尊重

私たちは、「国際人権章典」や「労働における基本的原則及び権利に関する国際労働機関（ILO）宣言」などの各種国際規範を踏まえ、企業活動をとりまく全ての人々の人権を尊重します。

4.4. リスク管理の徹底

私たちは、市民生活や企業活動に脅威を与えるテロ、サイバー攻撃、自然災害、感染症の蔓延、サプライチェーンリスクなどの多様化するリスクに備え、組織的な危機管理を徹底します。

4.5. 経営トップの役割

経営トップは、本方針の精神の実現に向け、自ら率先垂範の上、実効あるガバナンスを構築します。また、本方針に反するような事態が発生したときには、経営トップが率先して問題解決、原因究明、再発防止などに努め、その責任を果たします。

4.6. 各ステークホルダーとの関わり

4.6.1. お客さま

私たちは、「お客さま志向」を常に念頭に置き、時代の変化を先取りした研究と新たな価値の創造に努めます。金型設計から製造、納品後のサポートに至るまで、品質の向上と環境への配慮を徹底し、最適な金型を提供します。

4.6.2.従業員

- 私たちは、「企業活動の成功は、従業員一人ひとりの個性と能力を伸ばし、全体の総合力を発揮することによってこそ達成される」との信念のもと、従業員を尊重し、個々人の成長を支援します。
- 私たちは、均等な雇用機会を提供するとともに、従業員の多様性を確保し、職場力の強化に努力します。
- 私たちは、従業員に対し公正な労働条件を提供し、安全かつ健康的な労働環境を維持・向上するよう努めます。
- 私たちは、従業員との誠実な対話と協議を通じ、「相互信頼・相互責任」の価値観を構築し共に分かち合います。そして、従業員と会社がお互いに繁栄するよう共に努力します。

4.6.3.取引先

- 私たちは、サプライヤー・販売店などの取引先を尊重し、長期的な視野に立って相互信頼に基づく共存共栄の実現に取り組みます。
- 私たちは、取引先の決定にあたっては、全ての候補に対しその国籍または規模に関わらず門戸を開き、その総合的な強みに基づき判断します。

4.6.4.株主

- 私たちは、株主の利益のために、長期安定的な成長を通じ企業価値の向上を目指します。
- 私たちは、株主および投資家に対して、企業情報の適時かつ適正な開示を行い、対話に努めます。

4.6.5.地域社会・グローバル社会

- 環境
 - 私たちは、ダイカスト金型の設計・製造を通じて環境負荷の低減に貢献し、持続可能な社会の実現を目指します。
 - 私たちは、高精度・高耐久の金型を提供することで、製品寿命の延長と材料・エネルギーの効率的な活用を推進し、環境と経済の両立に貢献します。
- 社会
 - 私たちは、各国の文化・慣習・歴史および法令を尊重し、それぞれの地域社会から信頼される経営を実践します。
 - ダイカスト金型の技術革新を通じ、安全でクリーンかつ社会のニーズを満たす優れた製品を提供し、産業の発展に貢献します。
- 社会参画と発展への貢献
 - 私たちは、地域社会との共生を目指し、企業活動を行うあらゆる地域において、独自にまたはパートナーと協力しながら、ものづくりを支える技術の普及・発展に貢献します。



株式会社

吉田金型工業